

講師などの派遣

富士フィルムでは外部のセミナーや研修に講師を積極的に派遣しています。

日本化学会主催「市民公開講座」

2002年3月、日本化学会主催の市民公開講座が早稲田大学で開催されました。当講座は化学的な立場からの環境・リサイクル材料の具体的な話題を含め、産官学の取り組みと戦略へ至る話題について議論を深めることを目的としたものです。富士フィルム環境・製品安全推進部の担当者が講師として参加し、「循環型社会実現のための富士フィルムの活動状況」というテーマで、省資源化のための3R(Reduce、Reuse、Recycle)の推進について講演しました。



ASEAN化学産業における環境対策に関する研修

2001年9月に、経済産業省により開催された「ASEAN化学産業における環境対策に関する研修」で、「富士フィルムにおける環境・リサイクル対策関連の取り組みの現状と課題」と題した講義を行いました。この研修はミャンマー、フィリピンなどのASEAN諸国の環境行政担当官、化学関係企業で環境事業に携わる幹部を対象に、研修を通じて各国での今後の環境対策への能力向上を目指したものです。足柄工場の「写ルンです」循環生産自動化工場については、「世界的にはどうなっているのか?」、「コストは?」など質問が飛び交い、各国での関心の高さが伺えました。

タイでレスポンシブル・ケア(RC)活動を指導

日本レスポンシブル・ケア協議会(JRCC)が実施しているアジア地域のRC活動支援に協力し、2002年2月25日から3月8日までタイに指導員を派遣しました。

富士フィルム担当者は、RCマネジメントシステム構築に関する基本的な知識および手法を学ぶために開かれるワークショップで、タイ民間企業のRC推進責任者および政府関係者の指導にあたりました。

植林活動

富士フィルム労働組合では環境に関する社会貢献活動の一環として、「グリーンスマイル基金」を設立し様々な活動を推進しています。中国植林ボランティア活動もそのひとつで、グリーン・スマイル隊は日本沙漠緑化実践協会が行っているNGO活動「緑の協力隊」に1998年より毎年参加し、中国の沙漠にてポプラの植林活動を続けています。2001年4月末、グリーン・スマイル隊のメンバー21名が中国に向けて出発しました。内モンゴルのクブチ沙漠(恩格貝)に、2日間の作業で920本(約43本/人)の植林を実現しました。今回は、以前植林をしたポプラの枝打ちも体験、広い中国の沙漠がグリーン・スマイル隊の植えたポプラで、緑の大地に変わるよう期待しています。



各事業所における地域活動の事例

足柄工場

・足柄工場が発起人となり、南足柄市と環境保全遵守協定を締結した6社(富士ゼロックス(株)竹松事業所、富士機器工業(株)パナック工業(株)南開工業(株)中谷商工(株)富士フィルム足柄工場)共同で、2001年10月「南足柄市内事業所環境情報公開推進協議会」を発足させ、環境活動発表会を実施しました。

小田原工場

・神奈川の水を守る一環として2001年9月開かれた「小田原ウォーターフェスティバル」や2002年3月に開催された「こどもエコクラブ全国フェスティバルinおだわら」に協賛・出展し、環境への取り組みを紹介しました。

富士宮工場

・2001年6月の環境月間にあわせて、約500名の従業員が参加し、工場周回道路の清掃美化活動を行いました。この清掃美化活動は毎年実施しており、2001年度で7回目となりました。

吉田南工場

・2001年9月に労使共催の参加型ボランティア活動「グリーンエイド作戦」を実施し、工場横を流れる大幡川周辺および工場周辺の清掃活動を行いました。

宮台技術開発センター

・2001年5月に約150名の従業員が参加し、宮台技術開発センター周辺のゴミ拾いと健康作りを兼ねた「第5回ウオーキング・クリーンデー」を開催しました。

朝霞技術開発センター

・2001年5月に労使共催の参加型ボランティア活動「グリーンエイド作戦」を実施し、朝霞技術開発センターおよび社宅周辺のゴミ拾いを行いました。